



令和の時代、確かなまちへ
発想の転換とスピード感

野崎 審也 議員

■治安の悪さの解消

問 子育て世代を中心に、本市への転入理由と本市からの転出理由を調査した結果報告が3月にあった。調査結果から本市の強みや弱み、課題をどう捉えたか。

副市長 子育て世代を中心とした暮らしやすさや豊かな自然環境を本市の強みの一つとして、シニアプロモーションにより広く発信する必要があると考える。また、治安に対するマイナスイメージの払拭が本市の課題であると捉えている。

問 この調査と関係があるシニアプロモーションについて、今年度はどのように考えているのか。

秘書広報担当部長 より多くの市民を巻き込み、ターゲットを子育て世代よりも若い世代にする。また、治安に対するイメージの向上をテーマに取り組み。

問 治安の悪さをどのように解消していくのか。

秘書広報担当部長 本市の治安に対するイメージは低いが、刑法犯の認知件数などは減少している。このギャップをどう埋めるかがシニアプロモーションのテーマである。改善された点をアピールしていくことが大切であると考えている。

問 今回の調査結果を今後どう活用していくのか。

副市長 広く市内で共有し、本市の強みや弱みを踏

考えた政策立案を職員一人一人が主体的に行うよう促す。また、本年度の総合計画の見直しにおける基礎資料として活用する。

■このままで良いのか
紅谷町まちかど広場

問 紅谷町まちかど広場の設置目的は何か。

副市長 中心商店街の魅力とにぎわいを創出し、活性化を図ることである。

問 利用状況は月7日程度と少ない。この現状打破に向け、どう考えているか。

産業振興部長 ホームページを活用し、まちかど広場で行われるイベントの内容を広げる。また、中心街のイベントとコラボレーションするなどして、利用の拡大につなげていきたい。

問 これまでの利用収入の推移を伺う。

副市長 平成28年度が8千円、29年度と30年度が2万4千円である。

問 収益面も考慮し、まちかど広場の管理運営を改める考えはあるか。

産業振興部長 設置目的に沿い、収益などに結びつけられる事業ができれば、関係者の意見を聴きながらそのようなことも進めたい。

■金目川下流域の堤防

問 唐ヶ原のガーデンホームズ前の堤防は未だに未整備で、設置されている土

のうは経年劣化しており、

危険である。どのように整備を進めていくのか。

土木部長 これまで県と連携し、地元への説明会をしてきた。また、安全面や環境面を考慮した堤防道路の位置や通行形態などを検討し、地元と話し合いを進めてきた。今後、大磯町と協議を行い、地元で丁寧な説明をしていく。早期整備に向け、引き続き県と連携して取り組んでいく。

問 堤防整備が終わると、J R高架下を通る河川管理用の道路はどうなるのか。

土木部長 県からは通行止めになると聞いている。

問 まず優先すべきは人命や財産を守ることで、そのためには河川の堤防整備や拡幅が必要である。しかし、このことにより利便性が失われるようであれば、代替措置を講じる必要があるのではないか。

土木部長 J R高架下の管理用道路が使えなくなると通行形態に支障をきたすという点でさまざまな意見を地元からもらっている。これらの意見の合意形成が大事故なので、県と連携しながら進めていきたい。

■小川跨線橋の解体

問 黒部丘の小川跨線橋が解体される。その代替として、J T跡地の北側に小川

跨線橋から駅西口まで、歩行者や自転車が行き来できる道路を確保できないか。

企画政策部長 跡地利用の要望事項として、開発事業者に駅西口までのルート確保を申し入れており、敷地

北側に東西方向の通行帯の整備をお願いしている。

■黒部丘架道橋の改修

問 補正予算に計上している黒部丘架道橋の改修設計費の内容について伺う。

企画政策部長 黒部丘架道橋は有効幅員1・5メートルの歩行者用の橋である。J R線路沿いの通行帯整備の進捗により、利用者の増加が見込まれることから、自転車も通行可能な幅員3メートルを目安に、拡幅方法を検討していく。

清風クラブ 所属議員



片倉 章博 議員



佐藤 貴子 議員



数田 俊樹 議員



須藤 量久 議員



黒部 栄三 議員

可決した
意見書

議員から、次の意見書が提案され、全員異議なく可決しました。ホームページには全文を掲載しています。

■子どもたちにゆたかな学びを保障するために、教職員定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書(抜粋)

政府におかれては、次の事項について配慮されるよう強く要望する。

- 1 子ども、保護者のニーズに応じたきめ細かな教育を実現し、ゆたかな教育環境を整備するため、基礎定数化を含めた計画的な教職員定数改善を早急に推進すること。
- 2 ゆたかな学びの環境を創出し、保護者負担軽減のため、教育予算を増額すること。
- 3 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国の負担を最低でも従前の2分の1まで拡充すること。

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

議案2案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第50号 令和元年度平塚市一般会計補正予算

問 文書広報費の広報活動事業では、多言語ユニバーサル情報配信ツールを導入する。その導入に至った理由を伺う。

答 日本語を母国語としない人への情報が不足していたため、それを補うために、導入を考えた。

問 情報化推進費の地域情報化推進事業では、公共施設への公衆無線LAN設置を拡充する。拡充を予定している箇所はどこか。

答 現在は市役所本館、平塚競技場、平塚球場、総合体育館、ひらつかアリーナ、ビーチセンター、

高麗山公園レストハウスに設置している。今回の補正により、中央図書館、博物館、美術館、市民病院の4か所に設置する。

問 農業振興費の担い手総合対策事業では、認定農業者を支援するための補助金として300万円を計上しているが、支援内容を伺う。

答 経営の効率化や安定化を図ることが目的で、機械や農業施設の費用に対して補助をする。

問 商工業振興費の波力発電関連分野での新産業創出促進事業では、波力発電の実証実験をPRするため、増額補正する。波力発電PR素材作成委託料として10万円を計上しているが、これはどのようなものを作るのか。

答 インターネットなどで配信する映像や画像の作成費用である。

都市建設

議案3案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第50号 令和元年度平塚市一般会計補正予算

問 道路維持費の道路施設改修事業では、黒部丘架道橋の改修設計を行うが、設計イメージを伺う。

答 利用者の増加が見込まれることから、幅員を約3メートルに拡幅する設計になる。

問 都市計画総務費のユニバーサルデザインタクシー推進事業について、この事業の目的を伺う。

答 国では、ユニバーサルデザインタクシーの導入率を18.3%にする目標を掲げている。市内の導入率が約4.9%であるため、導入を促進することが目的である。

問 公園費の公園整備事業では、ビーチパークに津波避難施設を設置するが、避難可能人数を伺う。

答 避難可能面積は約60平方メートルである。一時避難であるため1平方メートル当たり6人としており、約360人が避難できる。

問 債務負担行為補正の湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業は限度額を16億円としている。これはA、Bエリアの事業費で、Cエリアは含んでいない。全体の事業費はいつわかるのか。

答 Cエリアは、事業者から全体の提案を受けた後に、市民と協働で検討し、整備を進めていく。その中で出された意見を集約したときに金額などが算出できる。いつ頃になるかは決めていないが、来年度以降になると考えている。